

すみれぐみだより



子どもたちが楽しみにしているプール・水遊びが始まりました。「お水は冷たいね！気持ちいいね」と子どもたちの元気な声が聞こえてきます。水遊びをする前に、幼児クラスの子どもたちはホールに集まり“水遊びのお約束”を紙芝居形式で教わりました。・プールの前日は早く寝る(9時には布団に入る)・爪を切る・朝は7時には起きる・朝食をとる・髪の毛を結わく・体調が悪い時は入れない・先生の話をよく聞く・プールの中に飛び込まない 子どもたちは「うんうん、そうだよね」と納得しながら聞いていました。水遊びの初日、嬉しくて室内を走り回っていた子どもたち。「今日はプールの日だけどそんなに走り回って大丈夫かしら？」と声をかけると「あっ、そうだ。先生の話をお聞きできなくていいんだ」と走り回るのをやめました。プールバック、水着、タオル、水泳帽は子どもたちにとって宝物☆洋服を脱いで、自分で水着に着替える姿に頼もしさを感じました。水遊びが終わり脱いだ水着はタオルにクルクルとくるんで「のり巻きできたよ」と楽しみながら着替えています。水遊びの約束を守り安全で楽しい活動にしていきたいと思います。

☆今月のねらい☆

- ・夏期の保健衛生に留意し、楽しい生活を送る。
- ・水や砂の感触や心地よさを味わい、全身遊びを楽しむ。
- ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。

☆今月の予定☆

- 3日・17日(木) 英語で遊ぼう
- 7日(月)七夕の会 8日(火)幼児計測
- 25日(金)避難訓練



☆子どもたちの様子 言葉のやりとり☆

自分の思いを言葉で表現する姿、遊びや生活の中で見られます。自分の思いが通じる時と言葉で自分の思いを表現するのが難しく、大きな声で叫んだり、手や足が出てしまうこともあります。素直に自分の感情をだせるのは素敵なことです。そのことを大切に、言葉で表現できるよう担任と一緒に練習しています。ただ「言葉で言おうね」と伝えてもすぐにできるわけではありません。何度も繰り返し伝えることで身に付いていきます。園でも子どもたちの遊んでいる様子を見守りながら、必要に応じて言葉を添え、「何て言ったらいいかな？」と言い換えの言葉を探しながら仲立ちをしています。自分の思いを言葉で伝え友だちの思いにも耳を傾けることができるようになっていけたらいいなと思います。

☆ダンゴムシのいる庭☆

ダンゴムシが大好きな子どもたち。散歩先の公園や園庭で夢中になって探しています。「子どもはどうしてダンゴムシが好きなんだろう？」と職員間で話し合ったことがあります。・攻撃してこない・丸まった姿がかわいい・赤ちゃんのダンゴムシが可愛い♡とありました。皆の大好きなダンゴムシについてもっと知りたいと思い“ダンゴムシのいる庭”という絵本を読みました。ダンゴムシのご飯は落ち葉、秋になり寒くなってくると落ち葉がお布団となりダンゴムシを守ってくれます。寒い冬になると土の中で眠ります。暖かい春になると土の中から出てきます。春の終わりから夏のはじめにかけて大人のダンゴムシは好きな相手を見つけて結婚します。子どもたちはよくお腹の白いダンゴムシを見つけます。「先生なんだか白いね、何で？」と聞かれることがあります。「それは卵だよ。赤ちゃんが生まれるんだよ。」と話す「じゃあ、優しくしないとイケないね。」と言っていました。公園から帰る時には、手にしていたダンゴムシを置いて帰ります。「ダンゴムシのお家は公園。ママとパパに会えなくなっちゃうからね」と優しく土の上にかえしています。私たちの身近にいる生き物に優しく接する姿に心の成長を感じることで嬉しく思いました。